

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 647 2021年 9月号 1部60円 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinkai.com/yoyogi

地域の声に応え、渋谷区で新型コロナワクチン接種の中心的役割を担う

代々木病院の新型コロナワクチン接種の取組み

代々木病院は、5月末から新型コロナワクチン接種の医療機関として、渋谷区で中心的な役割を担ってきました。ほぼ毎日ワクチンの接種を行い、8月初旬でワクチン接種者は延べ1万人を越えました。ワクチン接種対応を担当した代々木病院健診センターの日向正美部長と逆井範夫課長に話を聞きました。(編集部)

渋谷区における新型コロナワクチン接種医療機関としての中心的役割を担う

編集部 代々木病院は、渋谷区の新型コロナワクチン接種医療機関として

中心的役割を担い、接種を5月末から開始、8月初旬までの約2か月の短期間でワクチン接種者は延べ1万人を越えたと聞きました。代々木病院として、これだけの多くの接種を行うに至った経緯



ワクチン接種会場の2階外来フロア。待合室は、ディスプレイをとり、接種待ちと接種後の安静待機をします

をお聞かせください。

日向部長 当初、渋谷区でのワクチン接種開始にあたり、区内の医療機関へ要請があり、代々木病院は日常の医療体制も考慮し週2〜3回、一日あたり30〜40人程度の接種を想定していました。そ



予診票の確認を行うスタッフ。写真右が逆井課長

診察室でワクチン接種を行います



健康友の会」からも「ワクチン接種は地域住民から強く望まれている。最大限のワクチン接種対応を検討してほしい」と要望されました。

保健所の要請、友の会からの要望も受け、感染対策担当の医師を交え、管理委員会で検討を重ね、最大限のワクチン接種対応を実施し

の後、渋谷区保健所から、代々木病院には渋谷区のワクチン接種医療機関の中心的な役割を担ってほしいという要請を受けました。また病院のパートナーである「代々木

ワクチン接種の取組み状況について

編集部 これまでのワクチン接種の取組み状況について教えてください

逆井課長 5月末から東京都の医療従事者の接種、6月から渋谷区在住の65才以上の高齢者、7月上旬から64才以下の方の接種が順次始まりました。

また近隣の職域接種、代々木病院

「ワクチン難民」を生まない「友の会」の取組み

編集部 地域では、ワクチンを早く接種したいが「予約コールセンターへ電話が繋がらない」「予約の仕方がわからない、取れない」などの声もありましたが病院として、どう対応されましたか？

逆井課長 地域でワクチン接種予約が取れない、また取りづらいのは大きな問題だと思っています

働く世代の方々が受けやすいように

編集部 ワクチン接種の取組みを通して良かったこと、気にかかること、今後の取組みについて教えてください

逆井課長 良かったことは、予約枠を最大限あげ、地域のみなさんに接種できるように貢献できたことです。気にかかることは、9月以降は行政からのワクチン供給に制限があり、地域の要望に応えきれぬのかということがあります。また住所不定の方や外国人の方が「ワクチン難民」となら

千駄の萱

皆さんは、オリンピックの開会式で良く使われる歌と問われ、思いつく歌はあ

るだろうか▼私にとって「ジョン・レノンの「イマジン」である。今回の東京オリンピックの開会式でも使われた。オリンピックの理念が歌の内容にマッチしていると思わせるために使われるのだろうが、果たしてどうだろうか。「国などない」と想像してごらん。難しくないだろう。これは歌詞の一部だが、オリンピックほど、ナショナルリズムを意識させられるスポーツ・イベントは他にないだろう。また、肥大化した商業主義、開催地に課せられる負担の増大など、大会の一体どこにオリンピックが活かしているのか▼だが、競技を観ればやっぱり面白い。一流同士の勝負は観ていてワクワクする。怪我を出して出場している相手選手を気遣う姿を見たし、競技中に転んでしまった選手に手を差し伸べる選手もいた。そこには勝負を超えた個と個の交流があるし、紛れもなく「国などない」のだから▼私はスポーツが大好きだ。オリンピックを観ていてつくづくそう感じた。だからこそ、オリンピックには反対である。(け)